

苫小牧市再生可能エネルギーゾーニング検討業務
ヒアリング実施要領及び評価基準

令和4年7月

苫小牧市

1 目的

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、再生可能エネルギーゾーニング検討業務の受託候補者決定のための公募に係るヒアリングを、web会議システム（Zoom）を利用して実施する。本要領は、実施にあたり必要な事項を定める。

2 時間配分

1者あたり40分（提案説明20分、選定委員からの質疑20分とし、質疑が終わり次第終了）とする。

3 日時

- (1) 令和4年9月16日（金）13時から開始とするが、各提案者のヒアリング実施時刻については個別に通知する。
- (2) 各提案者は、ヒアリング開始時刻の10分前までには準備を完了すること。なお、ヒアリング開始前に市担当より各提案者に電話連絡を行うので、指示に従ってZoomからヒアリングに参加すること。
- (3) ヒアリングの進行状況によっては、開始時刻を早める可能性があるが、その場合、ヒアリングの対象となる提案者と協議の上決定する。

4 ヒアリングで使用するweb会議システム等について

- (1) ヒアリングはZoomのオンライン会議サービスを使用して実施する。
- (2) 苫小牧市がホスト（主催者）として開催するので、対応可能なweb会議環境を準備すること。
- (3) ヒアリング開始前に市担当より各提案者に電話連絡を行うので、指示に従ってZoomからヒアリングに参加すること。
- (4) 提案者側の通信環境、PC等機器の不具合によるトラブルによるプレゼンテーション、質疑回答の中断等があった場合、説明時間、質疑時間の延長は行わない。

5 実施方法

- (1) 提案説明は、企画提案書では理解が難しい点やアピールしたい点について行うこと。
- (2) 提案者から審査委員会への質問は一切認めない。
- (3) ヒアリングは一般非公開とする。
- (4) ヒアリングの内容は、提出のあった提案書に基づくものとする。なお、資料の追加提出は認めない。
- (5) ヒアリングの説明者は、補助者を含めて4名以内とし、接続回線は2回線までとする。
- (6) ヒアリング説明者及び補助者以外の者のZoomへの接続は認めない。
- (7) 説明にあたり、補完的な資料の提出は認めない。ただし、プレゼンテーション

において、その内容を画面共有するものはこの限りではない。その場合、提案書の内容から大きく逸脱することがないように注意すること。

(8) 説明中の画面表示については、提案者の判断で説明員とプレゼンテーション資料（画面共有）を任意で切り替えることができる。

(9) 動画を画面共有する際は、PC がフリーズしないよう、事前に十分な確認を行うこと。

6 その他

ヒアリング実施内容等に変更がある場合は、各提案者に通知する。

7 評価基準

企画提案書及びプレゼンテーション等により、次の審査項目について、審査及び評価を行う。

① 業務遂行能力に関する項目【配点30点】

実施スケジュール、業務実施体制、企業の業務内容及び実績について総合的に判断する。

② 企画提案に関する項目【配点100点】

業務の実施方針、既存情報の収集・整理、ヒアリング調査の対象、現地調査（景観調査）の内容、ゾーニングマップの作成、再エネ導入方針の検討、環境配慮条例の検討、資料見積額の内容について総合的に判断する。

③ プレゼンテーションに関する項目【配点20点】

プレゼンテーションの内容が企画提案書の内容に沿った内容であり、技術的知見、取組意欲、コミュニケーション力等を判断する。

8 結果通知

苫小牧市再生可能エネルギーゾーニング検討業務に関する公募型プロポーザル実施要領「15 結果の通知・公表」のとおり

評価基準表

No	審査項目	審査の視点
1	業務遂行能力に関する項目 (配点 30 点)	<p>実施スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務を期日までに確実に遂行できるような事業計画であるか。 <p>業務実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務を効果的・効率的に実施するための資格、経験、専門知識、人数等、適切な業務実施体制を有しているか。GIS等の専門技術を有しているか。 <p>企業の業務内容及び実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、都道府県、市町村において、ゾーニング調査や地域との合意形成支援、環境情報整備に係る業務の実績を有しているか。
2	企画提案に関する項目 (配点 100 点)	<p>業務の実施方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務の実施目的、業務内容を理解した上で、全体の実施方針が提案されているか。 ・次年度以降の展望が明確である一方、行き過ぎていないか。社会条件や地域性を考慮した着実な再エネ導入の考え方になっているか。 <p>資料・情報の収集・整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然的・社会的条件について、既存資料の収集・整理について、収集対象は適切かつ広範囲であるか。 <p>ヒアリング調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然関連、港湾、産業、発電等の団体や先行利用者、有識者や行政機関等、ゾーニングや景観条例策定の為に必要なヒアリング先を網羅しているか。 ・ヒアリング手法は妥当か。 <p>現地調査（景観調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニングに必要な情報を収集し、発電施設をイメージする資料の作成に必要な調査内容であるか。 <p>ゾーニングマップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GISデータ等の技術を活用し、環境省等の示すマニュアルの示す内容に沿ったマップの作成し保全・調整・促進等エリア設定がされているか。 <p>再エネ導入方針の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニングやヒアリングの結果に応じた、再エネ導入方針の設定を行えるか。 <p>再エネ導入と景観との調和を図るための条例等の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の成果を踏まえた、景観配慮条例の設定に向けた検討・調整が実施可能か。 <p>事業経費参考内訳書の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体性があるか。 ・適正な価格設定になっているか。
3	プレゼンテーションに関する項目 (配点 20 点)	<p>プレゼンテーションの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン内容と企画提案書の内容に齟齬が無いか。 ・質疑応答の対応に問題はないか。 ・技術的知見を有しているか。
合計	150 点	

